

刑事訴訟法案外二件特別委員會會議事速記録第二號

大正十一年三月十七日(金曜日)午前十時二十六分開會

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) 是ヨリ引續イテ本委員會ヲ開會イタシマス、而シテ昨日ハ民事訴訟法中改正法律案並ニ身元保證ニ關スル法律案ニ付テ質問應答ヲ重ネタ次第アリマシテ、本日ハ更ニ溯テ刑事訴訟法案ニ付テ質問ガゴザイマス、此際シテ裁キマス、大體ニ付テ御質問ガナイヤウデゴザイマシタラバ、各章全體ニ付テ御質問ヲ得タイト思ヒ居リマス

○子爵池田政時君 是ハ又先ノ章ノ場合ニナツタ詳シク御説明モアラウト考ヘマスガ、實ハ此法案ニ對シマシテ衆議院ニ於テ修正サレマシタ簡條ガ多クアリマスヤウニ見受ケマスガ、先日モ御説明ノ場合ニ當局デ其中テ殊ニ御同意ノ出來兼ネル簡條、即チ極力反對ヲスルト云フ御話ガアリマシタ簡條ガ二三簡條アルト云フ御話デゴザイマシタガ、此際ドウゾ其簡條ヲ御學ゲ下サイマシテ其ノ理由ヲ一應御説明ヲシテ裁キタイト思ヒマス

○政府委員(林頼三郎君) 衆議院ニ於キマシテ本案ニ付テ大分修正ノ簡條ガアリマスノデアリマスガ、中ニハ政府ニ於テ同意ヲ致シタ所モアリマスシ、又強テ反對ヲシナイト云フ程度ノ所モゴザイマスガ、或事項ニ付テハ絕對ニ反對シナクレバナラヌト云フ様ナ所モゴザイマス、其ノ極力反對イタシマス簡條ハ、條文デ申シマスト云フト百廿三條ノ削除及ビ百廿三條ノ削除スル結果トシテ削除若ハ修正ヲ加ヘマシタ多クノ條文デゴザイマス、ソレヲ舉ゲマスト百廿七條、百廿八條、百廿九條、百三十一條、百七十條、百七十四條、百八十條、二百十四條、是ハ何レモ百二十三條ノ削除シテ結果修正ヲ加ヘマシタ簡條デアリマシテ、百二十三條ノ削除ニ全然同意ノ出來タ結果、此修正ニモ勿論同意ノ出來ヌ次第デアリマス、次ハ百三十一條第三項ノ削除、是モ全然同意シ難イ點デゴザイマス、ソレカラ其次ニハ五百三十二條、五百三十五條、此條文中デ拋棄ト云フ事ヲ削ルト云フ修正意見デゴザイマスガ、是モ政府ニ於テハ同意イタスコトハ出來ナイ簡條ニナリマス、其理由ヲ大體申上ゲマスルト、百二十三條ハ實際上ノ立場カラ見マシテ、非常ニ重要ナ事柄ニナツテ参リマス、百二十三條ハ檢事若クハ司法警察官ガ本條ニ列シタヤウナ特殊ノ場合ニ於テハ實際上已ムヲ得ヌ急速ノ事情ガアル場合ニ、一時被告人ノ身柄ヲ拘束スルト云フコトヲ認メタ法文デアリマス、詰リ斯ウ云フ場

合ニ一時拘束スル事ガ出來ヌト云フ事ニナリマス、被告人ノ身柄ノ所在ハ不明ニナリマシテ、サウシテ結局犯人ニ對シテ刑罰ヲ科スルコト云フ事ハ出來ヌノデアリマシテ、刑法ノ目的ヲ達セラレヌコトニナリマス、從テ一面ニ於テハ、是等ノ者ガ所在不明ニナツテ居ルト云フ事ニナリマス、云フト、良民ハ不安ニ堪ヘナイ、良民保護ノ不安ニ堪ヘナイ、良民保護ノ方向カラ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソレデ法文ニ明カニナツテ居リマス通り、斯ウ云フ特殊ノ場合ニ在テハ、起訴ヲスルダケノ事情ガ備ハツテ居リ、起訴ヲスレバ犯罪人ニ直チニ勾引狀ヲ出ス條件ガ備ハツテ居ル、併ナガラ其手續ヲスル餘裕ガナイ、斯ウ云フ全ク特別ノ場合デアリマス、是ハモウ實際上ノ立場カラ是ガ出來マセヌト非常ニ困ルト云フコトハ殆ド疑ヒナイ事デアリマス、サウ云フ次第デ此條文ハ是非此儘存置シナクレバナラス、斯ウ考ヘテ居リマス、此場合ハ第一カラ第六マデ舉ゲデゴザイマスガ、何レモ非常ノ場合デゴザイマス、例ヘバ第一ノ如キ全ク少シ猶豫スレバ何處ヘ行クカ分ラナイ、斯ウ云フ關係デ第一、第二、第三、第四、第五、何レモ留保スル事情ガアル、第六ノ場合ハ強盜又ハ竊盜……是ハ御承知通り多クノ外ノ犯罪嫌疑者ト云フモノハ一概トハ申サレマセヌガ、先ヅ住居モアリ、サウ所在ガ不明ニナルト云フコトハマアゴザイマセヌケレドモ、強盜竊盜ト云フ犯人ノ方ハドウモ所在ガ分ラナイ、一體其外ノ犯罪ニナルト被害者ノ方面カラ誰ガ行ツタンデアルカト云フ事ガ略々分ル、詐欺罪、暴行罪デモ誰ガヤツカト云フコトハ分ルベキ關係ガアル、所ガ竊盜、強盜ト云フ者ハ無關係何等ノ緣故モナイ者ガヤリマスカラ、被害者方面カラモ誰カ分ラナイ、一朝所在ヲ失フト云フト、其後ニナツテ之ヲ明カニスルト云フコトハ非常ニ困難デアリ、一面カラ言ヘバ斯ウ云フ犯罪ハ良民ノ不安ト云フ事ニ甚ダシク關係ガアルノデアリマス、サウ云フ次第デ、特別ノ場合ニ特別ノ僅小ナル條件ノ下ニ一時身柄ヲ拘束スルコトヲ許ス、斯ウ云フ事ニナツテ居リマス、此意味ニ御了解ヲ願ヒマス、ソレカラ其次ニハ五百三十一條第三項、是ハ辯護人ガ數人アル場合ニハ被告人ノ爲ニスル意見ノ陳述ハ重複シテ之ヲ爲スコトヲ得ヌ、之ヲ削除スルト云フ衆議院ノ意見デゴザイマス、是モ實際上削除スルト云フコトニハ同意スルコトガ出來マセヌ、是ハ御承知デモゴザイマセウガ、今日ノ實際ニ於キマシテハ辯護人ノ數ガ制限シテナイノデゴザイマスカラ、一ツノ事件ニ付テ澤山ノ辯護人ガ付キマシテ、

サウシテ其陳述ガ重複シテ行ハレルノデ、ソレガ爲ニ訴訟手續ノ進行上防ゲニナリ、サウシテ被告人ニ取テ何等ノ利益ガナイ、斯ウ云フ事ニ對シテ實際ノ經驗家ハ等シク見ル所ノ事デゴザイマス、ソコデドウシテモサウ云フ弊ヲ矯メルニハ辯護人ノ數ヲ制限スル事、數ヲ制限シナクレバ第一ニ重複ヲ禁ズルカ、何レカノ途ヲ執ルト云フ事ガ必要デアリマス、ソコデソレ等ノ點ニ付テ段々ニ攻究シタノデアリマスガ、辯護人ノ數ヲ制限スルト云フコトハ困難ナ事情ガアリマスカラ、本案デハ辯護人ノ數ヲ制限シナイ、サウ致シマス意見ノ陳述ノ方ニ一定ノ制限ヲ置ク、サウ云フ事ガ實際上ノ必要デアリマス、是ハ是非限定シテ裁キマセヌト、實際ノ場合差支ガアル、此意味デ全然不同意ナ次第デアリマス、ソレカラ其次ニ五百三十二條、五百三十五條ノ如キ、同じ事柄ニナリマス、略式命令ヲ出シマシテ、ソレニ不服デアルト云フト正式裁判ノ請求ガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、其請求權ヲ拋棄スルコトヲ此案デハ認メマス、衆議院ニ於テハ拋棄ト云フモノヲ認メテハナラス、斯ウ云フ意見デアリマスガ、是ハ實際上カラ申シマシテモ此法案ノ外ニ之ニ類似スル場合等ノ權衡ノ上カラ申シマシテモ、之ヲ削ルト云フ事ハ如何ニモ道理ニ合ハヌコトト思ヒマス、略式手續ハ申上ゲルマデモナク簡易ナル事件ニ於テハ極メテ簡捷ナル手續ニ依テ完結ヲ告ゲルト云フガ眼目デアリマス、ソコデサウ云フ略式命令ガ出マシテ、ソレニ不服ガナイト云フ場合ハハ早く確定シテ始末ヲ付ケルト云フコトガ便宜デアリマス、ソコデ正式裁判ノ請求權ヲ有ツテ居ル場合ハ確定シタ方ガ都合デアルト云フ場合ニハ拋棄スルト云フコトニナルト、既ニ確定シテ總テノ結果ガ付イテ仕舞フノデアリマス、非常ニ便宜デアリマス、ソレカラ又此法律ノ法案ノ立テ前カラ申シマスルト云フト、例ヘバ控訴上告即チ上訴ノ拋棄ト云フコトハ認メテ居リマス、即チ判決ヲ受ケテ上訴權ハ生ジタケレドモ、不服ハナイト云フコトナラバ拋棄シテ宜シイ、斯ウ云フ立テ前ニナツテ居リマス、上訴ノ拋棄ヲ認メテ居ルノニ、正式裁判請求ノ拋棄ヲ認メナイト云フコトハ、是ハ道理ノナイコトデアリマス、サウ云フ方面カラモドウモ之ヲ削除スルト云フコトハ理由ハアルマイト思ヒマス、是ハ即チ此現行法ニ於テモ斯ウ云フ規定ガアル、本人ハ拋棄スル意思ガナイノニ、裁判所ノ方カラ無理ニ勸メテ拋棄ヲサセルヤ

ガアリマス點ガアリマスノデ質問ヲ致シマス、ソレハ三十
九條及百十五條ニ於キマシテ、此原案ニ「夫」トアリマシタ
ノヲ「配偶者」ト改メタ、是ハ夫又ハ妻ト云フ意味デ改メタ

通り斯ウ云フコトニナリマシク、矢張ソレデ宜シイガラウ
ト云フコトニ考ヘテ居リマス

○政府委員(林頼三郎君) 輔佐人ノ方モ夫權ヲ害スルト云フ風ニ必ズシモヤカマシク申シタ意味デハアリマセヌ、實

際上ノ關係ト、ソレカラ古來カラノ日本ノ夫婦間ノ關係ト云フコトヲ參酌シテマア此方ガ宜シト云フ意味デアリマス、ソレデ辯護人ヲ選任シマス場合、實際ノ適用トシマシテハ被告人ガ現ニ拘留サレテ居ル、サウシテ公判期日モ、將ニ近クナッテ居ルト云フヤウナ場合ニ、實際上此夫ノ意思ヲ聞イテサウシテ辯護人ノ選任ヲスルヤウナ餘裕ノナイコトガ随分アリマス、サウ云フ場合ニ此妻ニ全ク選任權ガナイト斯ウ云フコトニナリマス、被告人ノ權利ノ保護ノ上カラドウモ至ラヌコトガ起リテ來ルト云フヤウナコトガアリマス、ソコデサウ云フ場合ニ、必ズモ夫ノ意思ニ基カズニ妻ノ方デ選任シマスルコトニシテモ選任サレテ辯護人ガ訴訟行為ヲスルコトニナルノデスカラ、サウシテ辯護人ハ原則トシテ依頼人ノ意思ニ反シテ訴訟行為ハ出來ナイコトニナッテ居リマス、ソノトハ關係ガ違フテ來ルノデ、此方ハ差支ヘナイト斯ウ云フ考デアリマス

○政府委員(伯爵寺島誠一郎君) 本案ノ大體ニ付テノ御質問及ビ特ニ衆議院ガ之ニ對シテ修正ヲ加ヘタ件ニ付テ御尋ガゴザイマシタカラ、最早ソレヲ、以上ノ點ニ付テモ、ゴザイマセヌヤウニ見受ケマス、付テハ此各章ニ付テ順次章ヲ追テ御質問ニナッテハ如何カト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デゴザイマセウカ

○鈴木喜三郎君 各章ニ付テノ質問ト云フ御意見デゴザイマシタガ……

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) イヤ御相談イタスノデゴザイマス、ドンナモノデゴザイマセウカト云フコトヲ……

○鈴木喜三郎君 私ノ考ハ、大體ノ質問ガ終了イタシマシテ、此儘御進行ナラ、各章ト云フコトニ、其順序ニナルノデゴザイマセウカ、若シモ或ハ小委員トカ何トカ云フヤウナモノヲ設ケルヤウナコトニナルノデアルナラバ、其小委員ノ御方ニ委託シテ、然ル後又各委員ハ委員ノ總會ニ於テ質問アレバ、質問スルヤウニシタ方ガ、或ハ取調ノ進行ノ上ニ於テ好都合デハナカラウカト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) 只今鈴木君カラ小委員デ密査研究サレテハ如何デアルカ、ソレカラ其後ニ又此委員會ヲ更ニ開催シテ小委員カラノ話ヲ聞イタ上デ更ニ質問ガアルナラバ質問シタラ宜カラウト云フヤウナ御意見ガ出テ居リマスガ、ドナタカ同意見デモアレバ、何カ形式ニ具ヘテ御申出ニナッテ戴ケバ、進行上都合ガ宜イト思ヒマス

○淺田德則君 私ハ此場合ニ小委員ヲ六名選定セラレテ、サウシテ六名ニ正副委員長ヲ加ヘラレテ都合八名ニ相成リマス、其指名ハ委員長ニ於カレマシテ指名サレムコトヲ希望イタシマス、其動議ヲ提出イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○鈴木喜三郎君 賛成

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) 只今淺田君ノ御動議ニナリマシタ小委員六名、ソレニ正副委員長ヲ加ヘテ八名ニ於テ之ヲ審査シ、小委員ハ委員長ニ於テ指名サレタラ如何カト云フ御動議ガ出マシタ、池田君並鈴木君ガ御賛成ニナッテ居リマスガ、其通りニ取計ヒマシテ、宜シウゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) 御異議ナイト認メマス、然ラバ左様取計ヒマス、茲ニ小委員ニナッテ、戴ク御方ノ御名前ヲ申上ゲマス、甚ダ御面倒デゴザイマスガ、御願ヒ致シタイト存ジマスノハ、河村善益君、河村讓三郎君、矢吹省三君、岡田文次君、湯淺倉平君ノ六名ニ願ヒマス、是ニ正副委員長ガ参加致シマシテ審査イタスコトニナッテ居リマス、是デ本委員會ハ散會イタシマス

午前十一時五分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵寺島 誠一郎君
副委員長 松室 致君
委員 子爵池田 政時君
淺田 德則君
河村 善益君
河村 讓三郎君
男爵新田 忠純君
鈴木 喜三郎君
男爵矢吹 省三君
岡田 文次君

政府委員

司法省刑事局長 林 賴三郎君
司法省參事官 岩村 通世君
司法省參事官 三宅 正太郎君

貴族院過激社會運動取締法案特別委員會速記録第五號正誤

頁	段	行	誤	正
一一	下	二六	河村讓三郎君	河村善益君
一二	中	二三	河村讓三郎君	河村善益君
一六	同	一六	伊澤多喜男君	子爵伊東祐弘君

大正十一年三月三十一日印刷

大正十一年四月一日發行

貴族院事務局

印刷所 〇〇〇